

不知火がしたいわけでは
ありませんが。







不知火が
あのような事を
言うわけが
ないでしょう



おかしいな夢を
見たせいで
目が冴えて
しまいました

…司令に心配を
お掛けしたのも
不知火の不徳の
致すところですが

何より司令が
お辛いはず

男性の性欲は
女性のそれより
制御が効きづらい
と聞きます

以前と違い今は
不知火がそれに
我慢を
強いている…

これでは部下としても
妻としても
失格なのでは
ないでしょうか…

ん…

さわ
さわ















経験が伴えば
自ずとこう…

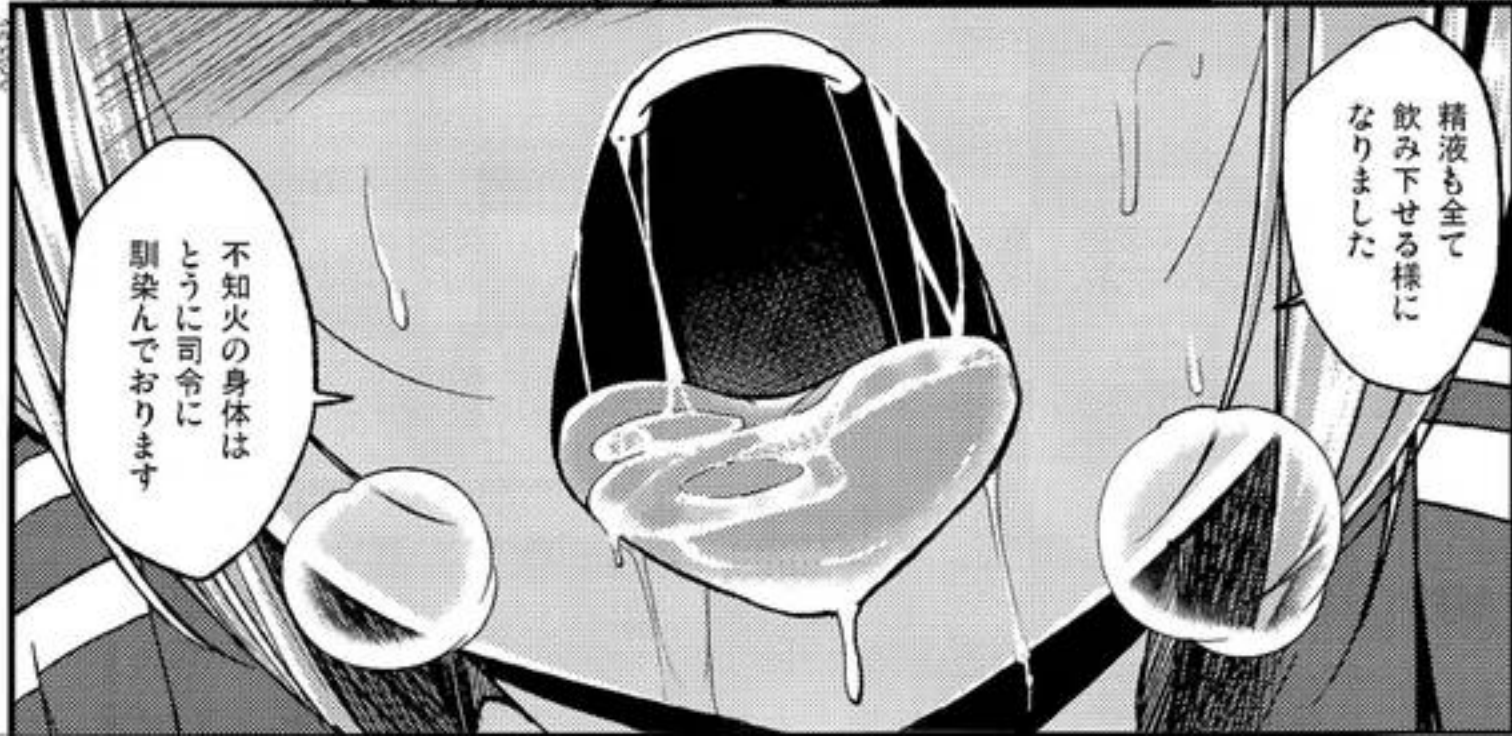
[illegible]

ふもひじも
いほとつう
ふふはよ
えしいん
いはへん
おちんめ
りひにれ
まひきふ
ひまもか
ゆすあ
…
つ

ろうぞ
お好きな
とひに

スマン不知火
出すぞ……っ







この期に及んで
我慢を強いるなど
妻として失格

いえ
問題ありません



…私はダメな
提督だな…
抑えが効かん…



夫としても
同様かと

…存じます

ですからどうか
好きなだけ…
求めて下さい…



心…得た…っ

挿っ…た…
司令のベニス…
ああ…でも…

は…

っは…

動きが
優しすぎます…
またこの人は
過剰に…氣遣って…っ

不知火はなにか…
して欲しい事とかは…
あるか…っ？

不知火は別に…
構いません…が…
これでは司令は
物足りないはず…

それでは
ひ…一つだけ…っ
我が儘を…
…その…どうか

…っそうです
学んだはず…
こういう時は行動で
示したほうがよい…



お誘いしたのは
不知火ですから...っ

不知火が動いて
差し上げるのが筋と...
ただそれだけ...
ですから...っ

動きに物足りなさを
感じてなど
いませんから...っ

不知火
今私達は...
何をしている？

性交...ですが...
あ

しっ不知火っ
いきなり動きが
激しすぎるぞっ



何が…
どうなっ
てい
る…?

そっ…それは…
不知火の…が…



司令の
ヘニ……



不知火は今
司令とセックスを
しています…っ

セックス…



司令の
おちんぽを…っ

啞えこんで
います…っっ



おちんぼが
ぶつかって……
ぶちゅぶちゅと音……
立っています……

サッ

サッ

不知火の瞳内……をっ
擦りあげて……
不知火は……
不知火は……



気持ち……
いいか？

は……いっ
不知火は……
気持ちよく
なっています……

どこが……
気持ち
いいんだ……？

バッ

グッ

これ……以上は……
羞恥心の限界……で……

聞かせてくれ
不知火……

もくひ……けん
を行使……

バッ

グッ



